（№　L-2018-006）

CI-NET LiteS実装規約改善要求書（CHANGE REQUEST）（案）

|  |  |
| --- | --- |
| 発信者記入欄 | 事務局記入欄 |
| 発　信　日　　2018年　12月　19日 | 受　信　日　　　　年　　　月　　　日 |
| 会 社 名　 | 改訂対象： |
| 企業識別コード |  |  |  |  |  |  | Ver. | 2 | . | 2 | ad. | 0 |
| 部 署 名　LiteS規約WG | 事務局処理記入欄 |
| 担当者名 |
|  TEL:連 絡 先 FAX: |
| 件　　名　[1313]請求算定方式コードのセット方法に関する追記 |
| ◎ 改善要求内容（問題点、改善案、理由について詳しくお書き下さい）【要求内容】確定注文・注文請けメッセージに以下のデータ項目を追加したことに伴い、以下のとおり改訂することを要求する。・[1313]請求算定方式コード　(1) 改訂対象 [1313]請求算定方式コード(2) 改訂内容以下のとおり変更する。＜CI-NET LiteS実装規約Ver.2.1 ad.7確定注文・注文請けメッセージ＞

|  |  |
| --- | --- |
| 変更前 | ＜本文＞　（記載なし。） |
| 変更後 | ＜本文＞

|  |
| --- |
| [1313]請求算定方式コード請求金額の算定方式を表すコード。 |

A： 税抜き累積額査定、税抜き当月請求額算定方式（累積請求額差引）B： 税抜き累積額査定、税抜き当月請求額算定方式（累積支払額差引）C： 税抜き累積額査定、税込当月請求額算定方式（累積請求額差引）D： 税込累積額査定、税込当月請求額算定方式（累積請求額差引）* 「2.2 全体情報部分(鑑)の出来高金額、請求金額算定方法」を参照。
* 出来高請求メッセージを利用しない、あるいは、請求額算定方式をCI-NET以外の手段で取り交わしている場合には、ブランクをセットする。
 |

 |

|  |
| --- |
| ◎ 改善要求内容（問題点、改善案、理由について詳しくお書き下さい）【要求の理由】確定注文／注文請けメッセージに、[1313]請求算定方式コードを追加することに伴い、出来高要請／報告／確認メッセージを使用しない場合あるいは支払条件が固定の場合におけるセット方法を明記する必要が生じた。【既存ユーザ等への影響】本データ項目は、任意項目として追加されることと、セット方法については運用ルールの変更であるため、既存ユーザ等への影響は少ないと考えられる。 |

（№　L-2018-006）

CI-NET標準ビジネスプロトコルおよびCI-NET LiteS実装規約に係る

改訂チェックリスト

CI-NET標準ビジネスプロトコルおよびCI-NET LiteS実装規約に係る改訂に関して、下記に示す項目についてチェック（○、×）を行い、問題がある場合にはその内容および改善の方向等について「指摘事項等」の欄に記載するものとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 審議･検討日 | 2018年11月16日 |
| 審議機関 | （委員会／WG名等を記載）標準委員会／LiteS規約WG |

|  |  |
| --- | --- |
| 改訂内容 | （提案者、対象メッセージ、新規項目名称・摘要等を記載）[1313]請求算定方式コードのセット方法に関する追記。 |

| チェック項目 | ﾁｪｯｸ | 指摘事項等 |
| --- | --- | --- |
| 1.既存ユーザへの影響度合い | ①実稼動しているシステムの改修度合 | ○ | 既存の運用ルールにおいても[1313]請求算定方式コードを使用しない場合にはブランクがセットされていると考えられるため、変更による影響はない。 |
| ②業務の見直し、変更への影響度合 | ○ | 業務の見直し、変更への影響はない。 |
| ③いずれのユーザの負担が大きいか | ○ | 出来高・請求・立替金・契約打切メッセージのユーザのみが対象となる。 |
| ④及ぼす影響の具体的な範囲や内容が見えているか否か | ○ | 及ぼす影響の範囲は明確化されている。 |
| ⑤即時の対応が可能か否か | ○ | ①の実稼働システムの改修がない前提で、即時対応が可能である。 |
| ⑥立場の違いなく対応が可能か否か | ○ | 立場の違いによる対応の差異は特にない。 |
| 2.各社固有の業務要件か | ①他ユーザの賛同の有無 | ／ |  |
| ②業務の変更による対応可否の検討有無 | ／ |  |
| 3.印刷要件か | ①各社の帳票出力に依存する項目が否か | ／ |  |
| 4.二重要件か | ①他項目での類似機能がないか | ／ |  |
| 5.定義の明確化 | ①類似項目との違いは明確か | ／ |  |
| ②規約全体を通して定義を明確にしているか | ／ |  |
| 6.改訂の緊急度 | ①即時対応の必要性の有無 | ○ | 緊急性は特にない。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 審議結果 | (単に承認／非承認だけでなく、そのような結果となった理由等も記載) |
| 今後の対応 | (上部審議機関への申し送り事項／差戻しの場合の再審議ポイントの提示など) |

|  |
| --- |
| 【チェック欄の凡例】○：問題なし△：やや問題あり／指摘事項に対する配慮があるとよい／：対象外／該当しない×：問題あり／指摘事項への対応が必要 |